

(2) 据付スペース

機器の据付には、保守、メンテナンスのためのサービススペースと、機器の放熱、凝縮熱の放熱のために一定の空間が必要です。

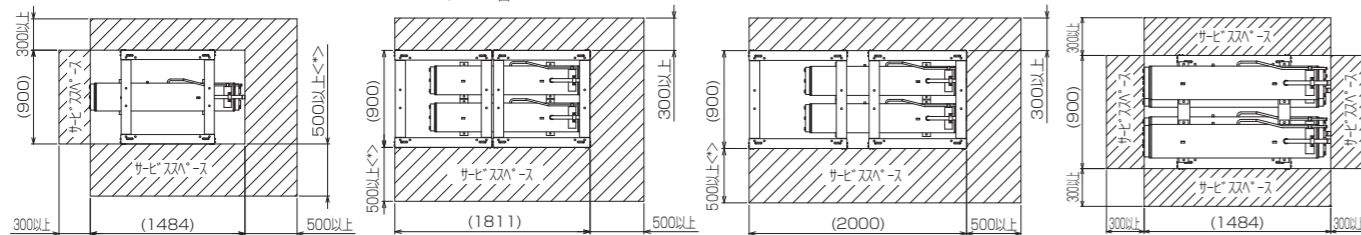
必要な空間が確保できない場合、冷凍能力が低下したり、最悪運転に支障をきたします。

■ ECV-EN75,98,110A +
RMW-N150A × 1台 +
DW-N110A × 1台

■ ECV-EN150A + RMW-N150A × 1台 +
DW-N110A × 2台
ECV-EN185,225A + RMW-N150A × 2台 +
DW-N110A × 2台

■ ECV-EN260,300,335A +
RMW-N150A × 2台 +
DW-N110A × 2台

■ RMW-N150A × 4台 +
DW-N110A × 1台



<*> 上段に水冷コンデンサを段積みする場合は500mm以上とすることをお勧めします。
ただし、「ECV-EN150A」との組み合わせの場合、水冷コンデンサは1台になります。

4. 据付工事

(1) 基礎工事

架台の基礎は、コンクリート又は鉄骨アングル等で構成し、水平で強固としてください。

基礎が平坦でない場合や弱い場合は異常振動や異常騒音の発生原因となりますのでご注意ください。

強固な基礎の目安として、製品の約3倍以上の質量を有する基礎としてください。

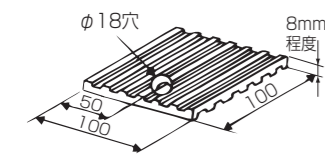
もしくは、強固な構造物と直接連結してください。

■ 製品が水平となるようにしてください。(勾配 1.5° 以内)

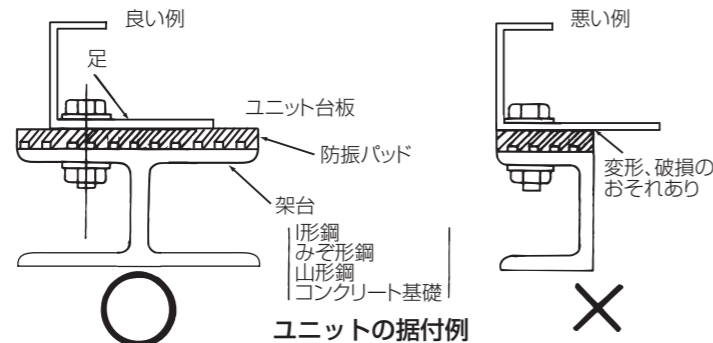
(2) 防振工事

据付条件によっては、振動が据付部から伝搬し、床や壁面から、騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事（防振パッド、防振架台など）を行ってください。

防振パッドの大きさは100×100として
ユニットの下まで敷いてください。
(推奨品 フリヂャストン製IP-1003)



防振パッド (例)



ユニットの据付例

(3) 架台と圧縮ユニットの固定

手順

1. 水冷コンデンサを据付ける。

(水冷コンデンサの据付方法詳細は水冷コンデンサに同梱している据付工事説明書を参照してください。)

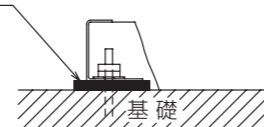
2. 架台を据付ける。

架台が地震などで倒れないように、ボルトで強固に固定してください。

(M12 据付ボルト：現地手配)

- 据付ボルトは必ず使用し、基礎へ確実に固定してください。
- 必ず4カ所固定してください。

M12のボルトでユニット据付足を4ヶ所強固に
固定してください。<ボルト・座金等は現地手配です。>
防振パッド

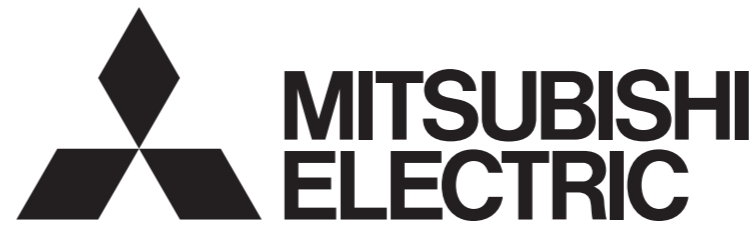


コンクリート基礎の例

3. 架台上部の圧縮ユニット取付穴（各部の名称参照）と圧縮ユニットとの固定穴をM12ボルトで各架台当たり4カ所、強固に固定する。

(ボルト、座金等は現地手配です。)

WT07618X01



対応機種

RMW-N150A

三菱電機 リモート式圧縮ユニット
別売部品 架台

形名

DW-N110A

取付要領書

安全のために必ず守ること

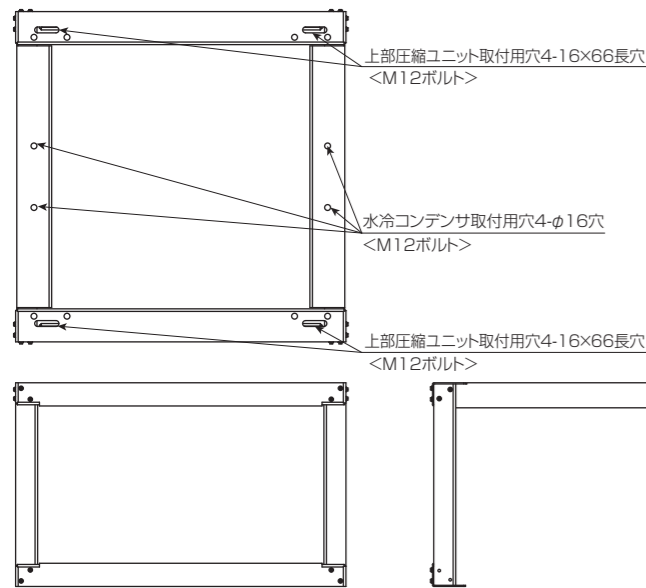
- ご使用の前にこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 組み合わせるリモート水冷コンデンサ、圧縮ユニットの安全に関する注意もよくお読みのうえ据付けてください。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、いつでも見られる所に大切に保管し、移設・修理の時は、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

警告	注意
据付けは、工事説明書にしたがって確実に行う。	排水工事を確実に行う。
● 据付けに不備があると、冷媒漏れや火災・感電・水漏れの原因になります。	● 雨水・除霜水などが屋内に侵入し、周囲を濡らす原因になります。
地震に備え、所定の据付工事を行う。	換気を行う。
● 据付工事に不備があると、転倒等による事故の原因になることがあります。	● 万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
据付けは、重量に十分に耐えうる所に確実に行う。	可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に据付けない。
● 強度の不十分な所に据付けると、ユニットの転倒落下により、ケガの原因になります。	● 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。
	板金エッジ部に直接手で触れないでください。
	● 手を触れるとケガの原因になります。

1. 各部の名称

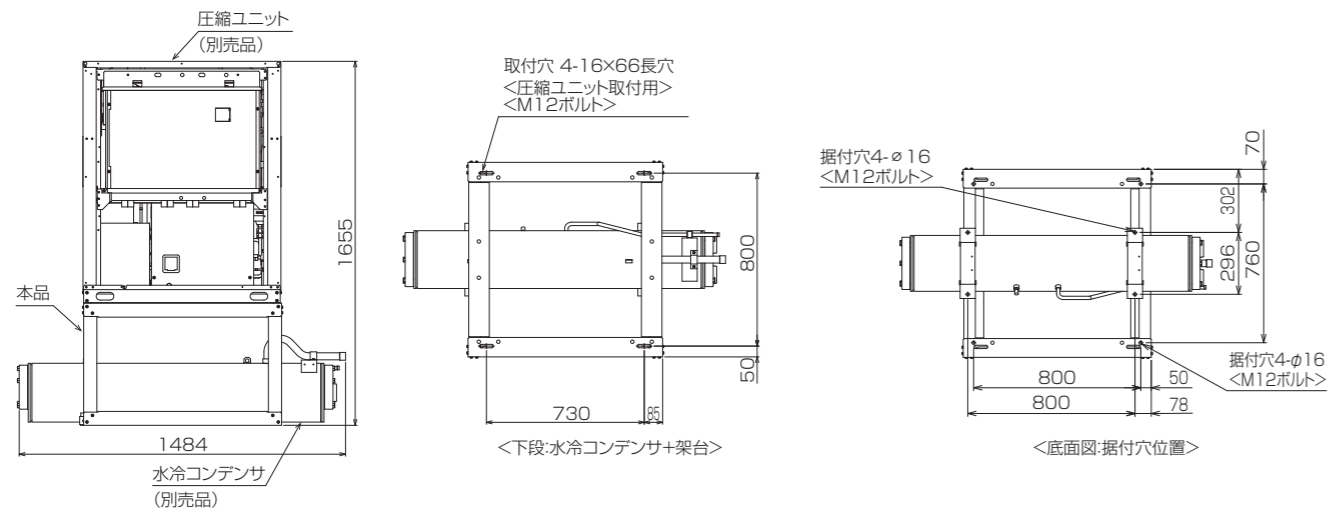


2. 使用箇所 (据付工事の概要)

2-1. 圧縮ユニット、水冷コンデンサとの組み合わせ方法

■ ECV-EN75,98,110A + RMW-N150A × 1台 + DW-N110A × 1台

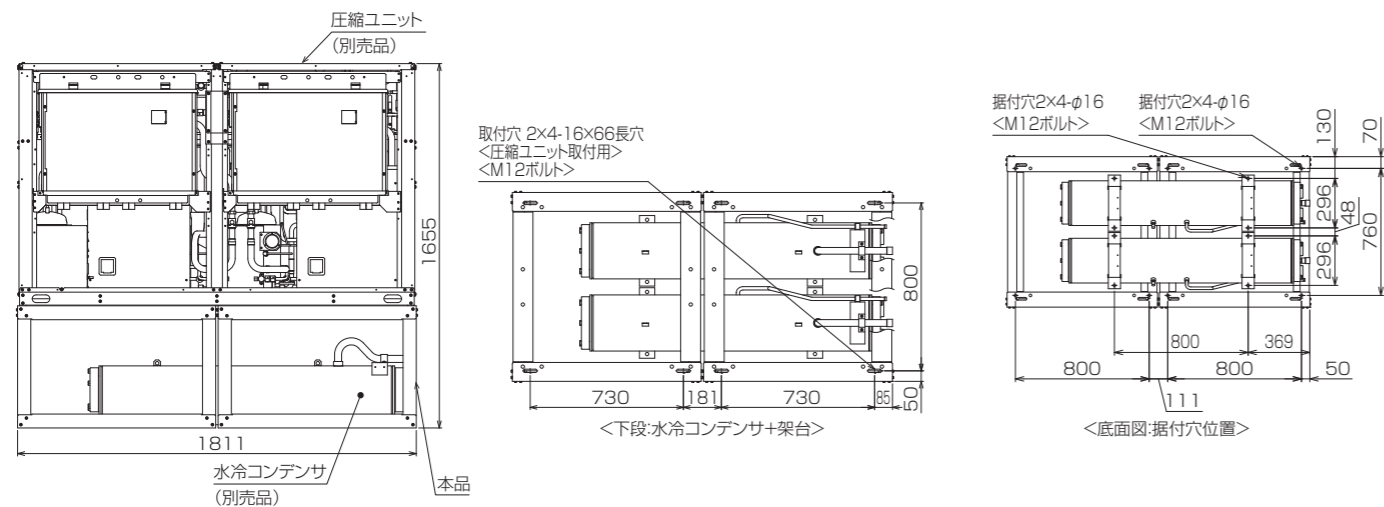
架台により水冷コンデンサと圧縮ユニット (ECV-EN75,98,110A) は下図のように段積設置が可能です。



■ ECV-EN150A + RMW-N150A × 1台 + DW-N110A × 2台

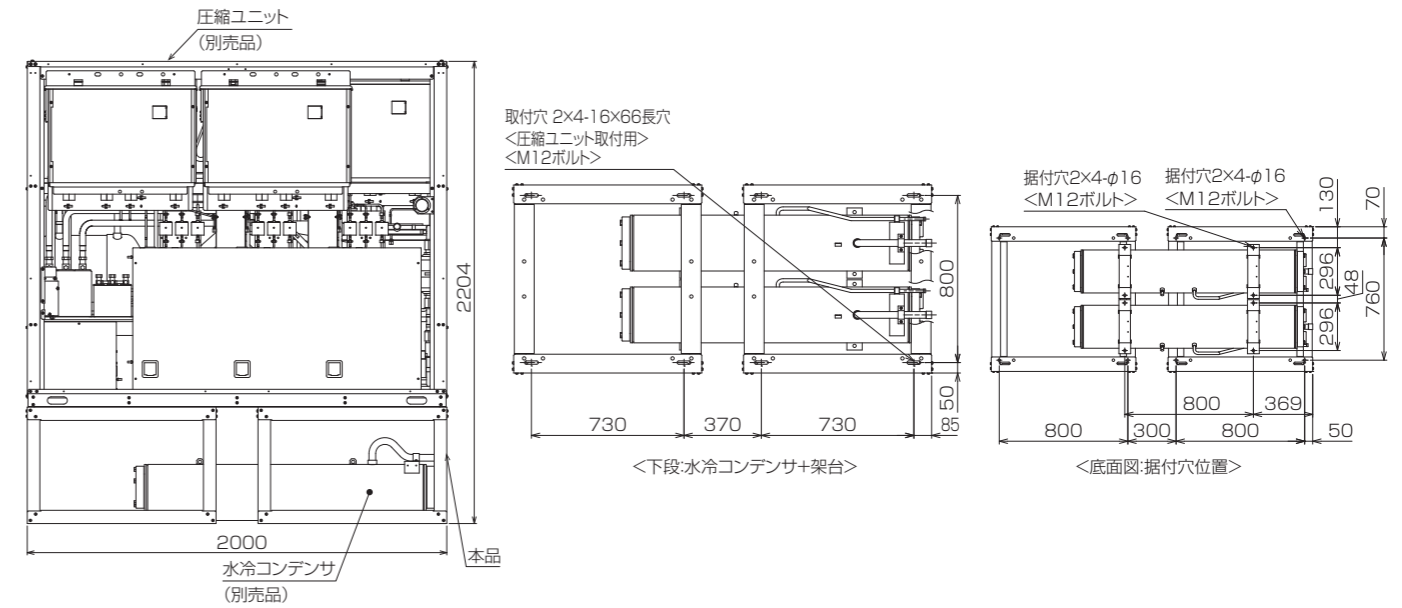
■ ECV-EN185,225A + RMW-N150A × 2台 + DW-N110A × 2台

架台により水冷コンデンサと圧縮ユニット (ECV-EN150,185,225A) は下図のように段積設置が可能です。
(下図は水冷コンデンサを2台使用する場合の例です。)



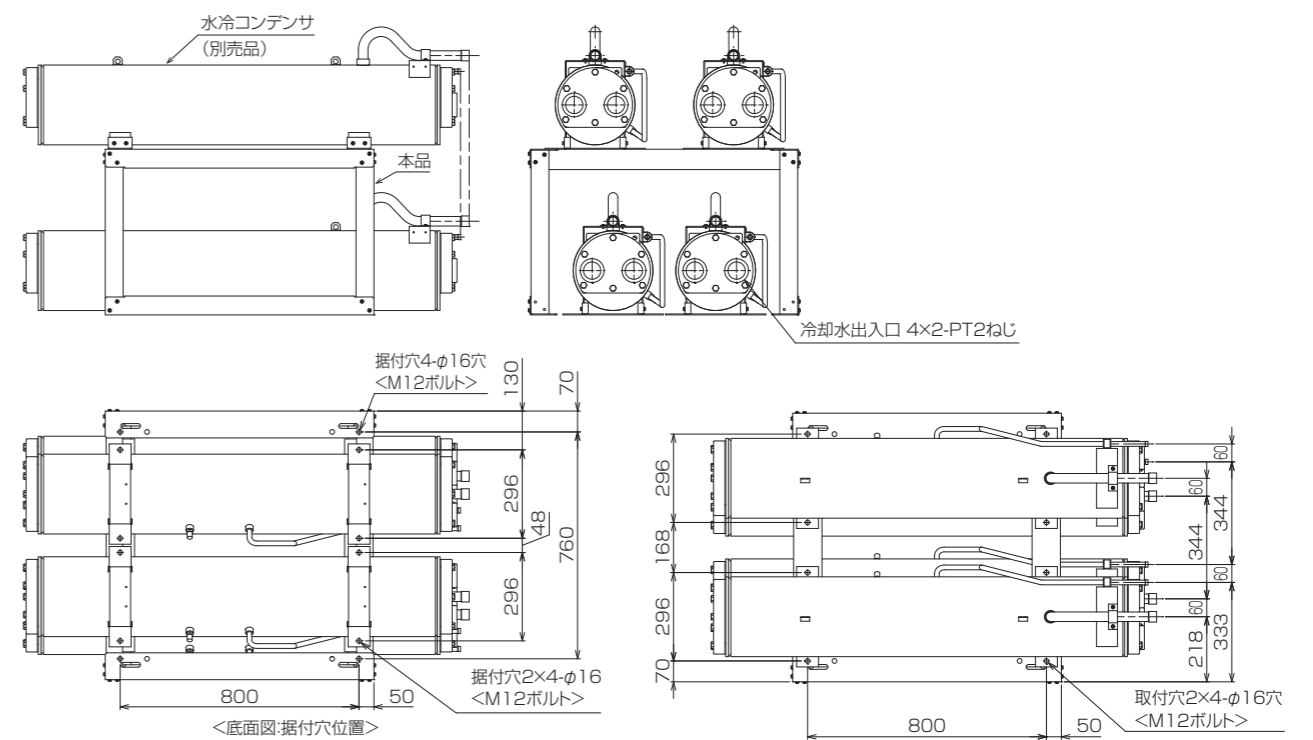
■ ECV-EN260,300,335A + RMW-N150A × 2台 + DW-N110A × 2台

架台により水冷コンデンサと圧縮ユニット (ECV-EN260,300,335A) は下図のように段積設置が可能です。



■ RMW-N150A × 4台 + DW-N110A × 1台

架台により水冷コンデンサは下図のように段積設置が可能です。



3. 据付場所の選定

(1) 据付場所の環境と制限

- 屋内置き専用です。
- 運転操作・及びサービスが容易に行えるようサービススペースが確保できる場所を選んでください。
- 騒音や振動の影響が少ない場所を選んでください。
- 冷凍装置 (ユニット、電気機器) の近くには可燃物を絶対に置かないでください。
(発泡スチロール、ダンボールなど)
- ユニットの据付け場所や機械室には一般の人が容易に入り出ししないような処置をしてください。
あるいは、容易にユニットに触れないような処置をしてください。